

**RENTRACKS**

証券コード：6045（東証マザーズ）

2020年3月期 第2四半期

# 決算説明資料

2019年11月25日

株式会社レントラックス

Rentracks.CO.,LTD.

P2

**2020年3月期 第2四半期 連結業績概要**

P16

**2020年3月期 第2四半期 トピックス**

P19

**2020年3月期 連結業績予想**

P24

**今後の展開**

**(参考資料) 会社概要**

## **2020年3月期 第2四半期 連結業績概要**

---

前年比で減収減益

季節需要案件の取引高低下と先行費用の発生が影響

売上高 : **4,815**百万円 (▲11.9%)

営業利益 : **125**百万円 (▲54.9%)

当期純利益 : **42**百万円 (▲76.4%)

( ) 内前年比

業績の主な要因

- エステ、健康食品などの季節需要案件の取引高の低下が当初予想を下回り、売上高が減少
- 海外ビジネス拡大のための先行費用や、システム関連の投資費用発生により営業利益が減少
- 保有する投資有価証券の評価損計上により、当期純利益が減少

## 季節需要案件の取引高低下により売上高は減少 先行費用発生による販管費の増加とともに、利益減少に影響

(単位：百万円)	2019/3 2Q		2020/3 2Q		前年比
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
売上高	5,463	—	4,815	—	▲11.9%
売上原価	4,781	87.5%	4,198	87.2%	▲12.2%
売上総利益	682	12.5%	617	12.8%	▲9.5%
販管費	403	7.4%	491	10.2%	+22.0%
営業利益	278	5.1%	125	2.6%	▲54.9%
経常利益	277	5.1%	124	2.6%	▲55.1%
四半期純利益	180	3.3%	42	0.9%	▲76.4%

季節需要案件の取引高低下で売上高は減少

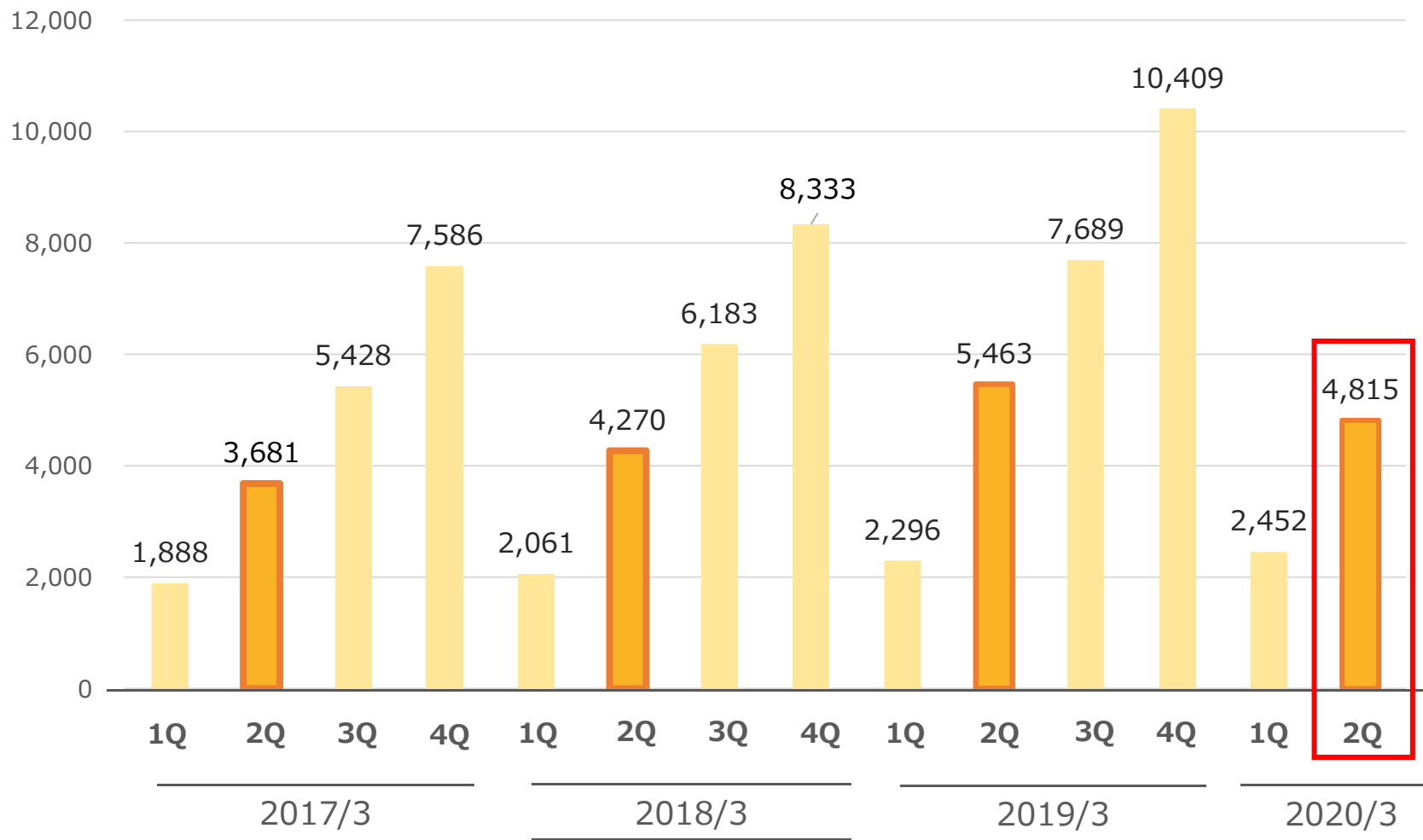
売上高の減少により売上総利益も減少、売上総利益率は微増

海外子会社における先行費用やシステム投資費用等による販管費の増加

投資有価証券の評価損計上により当期利益が減少

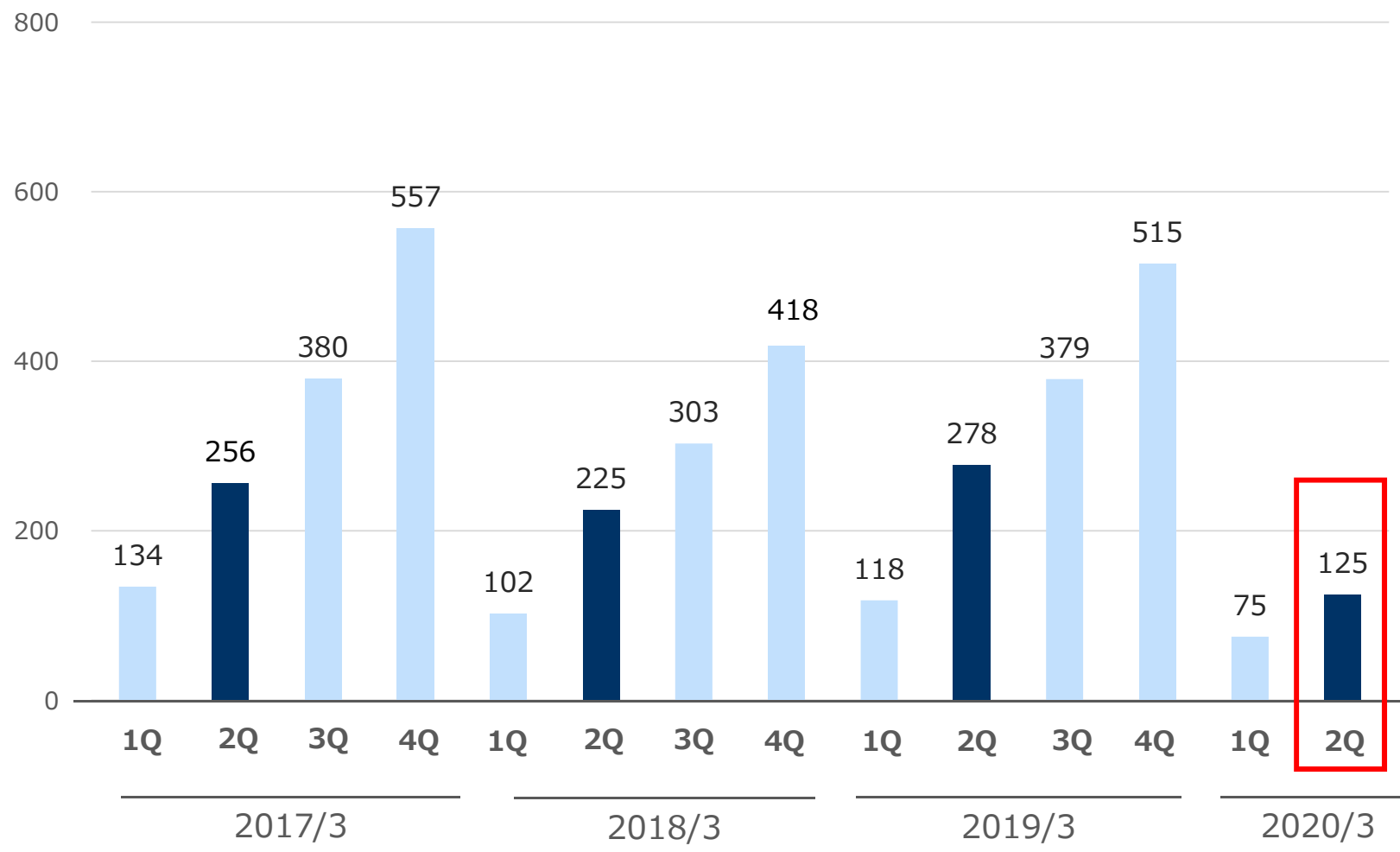
# 売上高は前年同期比で減少

(単位：百万円)



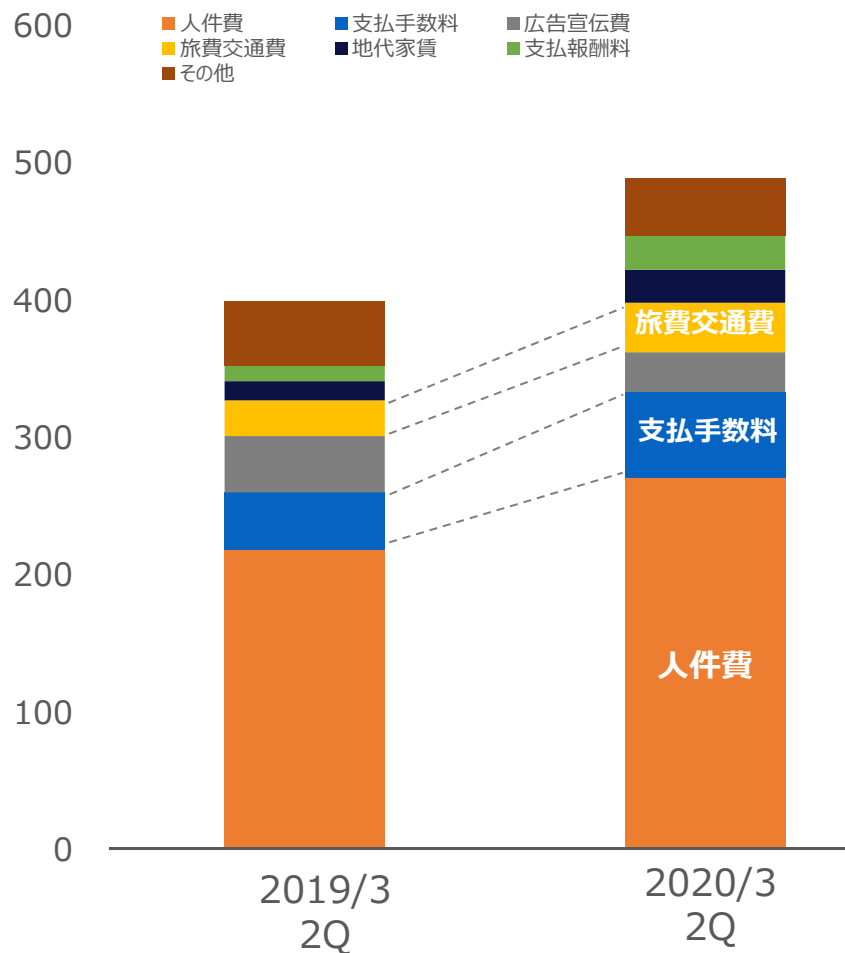
## 営業利益も前年同期比で減少

(単位：百万円)



# 事業拡大に伴い人件費、支払手数料、旅費交通費が増加

(単位：百万円)



	2019/3 2Q	2020/3 2Q	前年比 (%)
人 件 費	218	271	+24.3%
支 払 手 数 料	42	62	+45.5%
広 告 宣 伝 費	41	29	-28.3%
旅 費 交 通 費	26	36	+36.8%
地 代 家 賃	14	24	+62.7%
支 払 報 酬 料	11	25	+116.2%
そ の 他	47	42	-10.8%
合 計	403	491	+22.0%



## 成果報酬型広告サービス事業

売上高  
**4,520百万円**

前年比  
-2.6%

セグメント利益  
**541百万円**

前年比  
-8.1%

健康食品等の物販ジャンルなどの獲得件数が予想を下回り、売上高は前年比-2.6%、セグメント利益は前年比-8.1%となる。

## 検索連動型広告代行事業

前期は一部のアフィリエイト案件の広告主様により、売上、利益の新規の大きな積み上げがあったが、今期は同様の取引の受注に至らず、前年を大きく下回る。

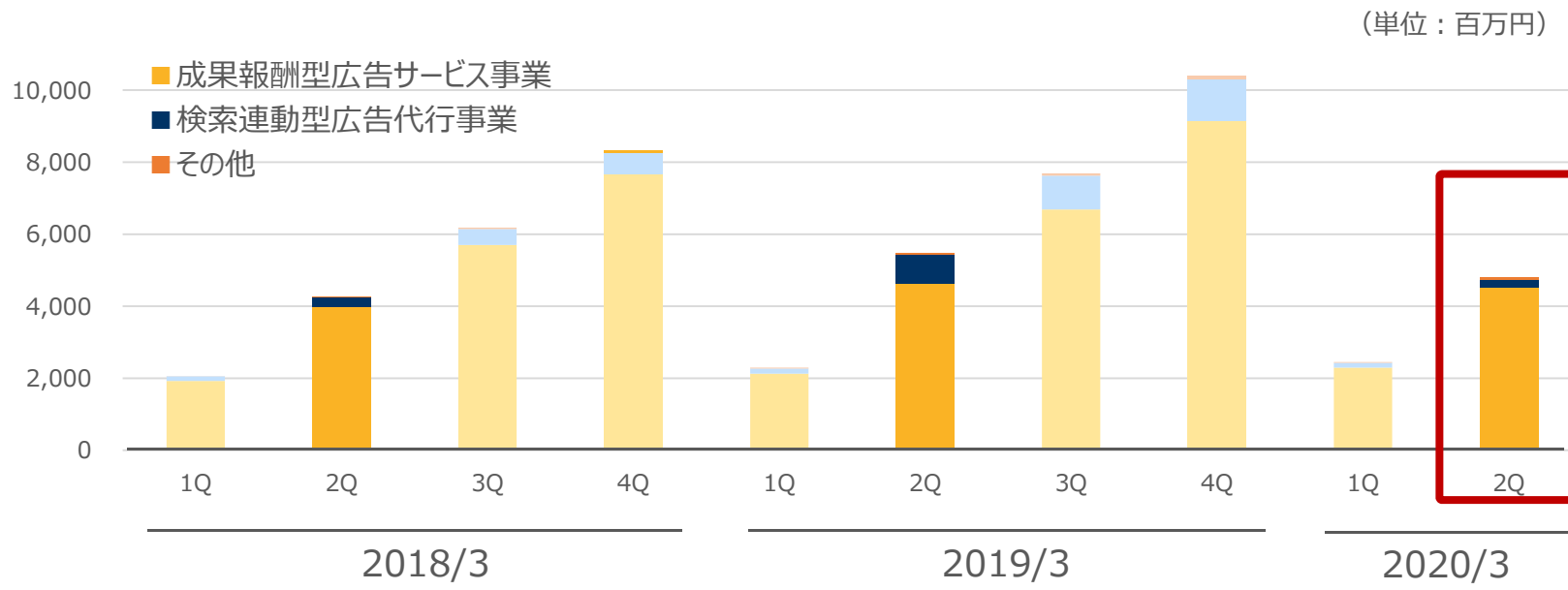
売上高  
**232百万円**

前年比  
-70.5%

セグメント利益  
**24百万円**

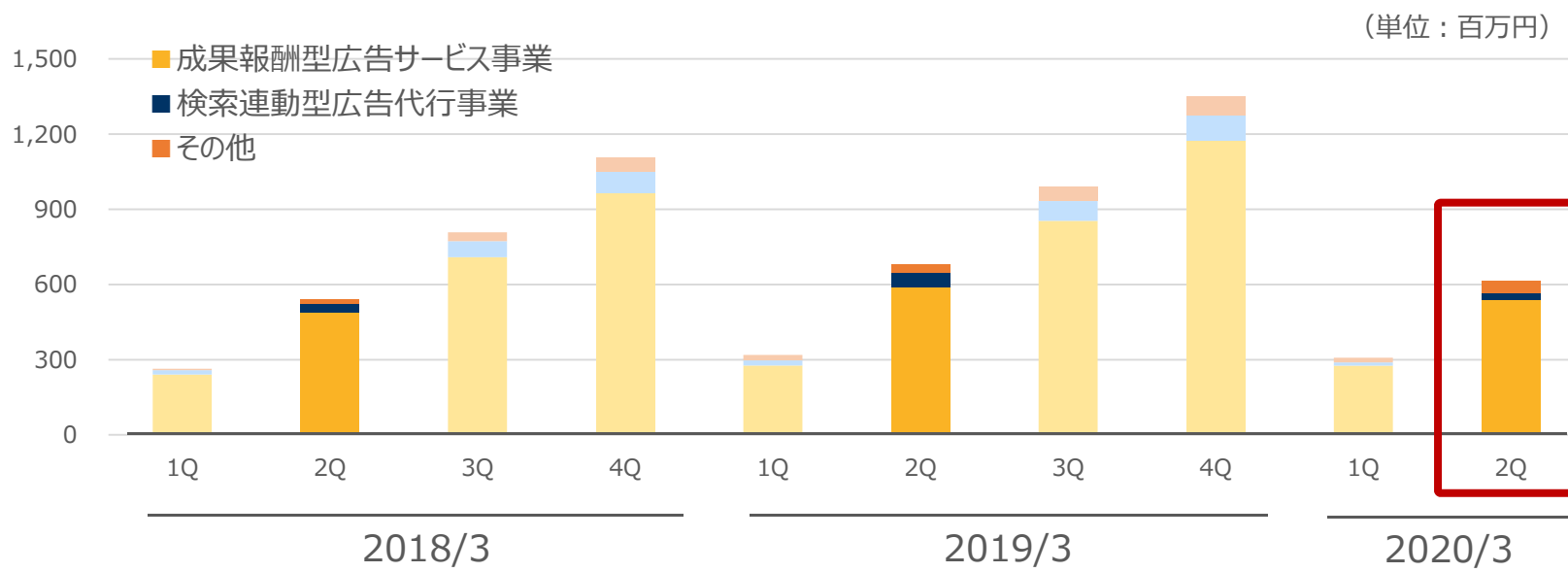
前年比  
-59.4%

**成果報酬型広告では獲得件数が伸び悩み減少  
検索連動型広告では前期の大幅な増加分の獲得に至らず減少**



成果報酬型広告サービス事業	1,924	3,984	5,701	7,684	2,130	4,639	6,687	9,151	2,294	4,520
検索連動型広告代行事業	129	267	445	593	142	789	939	1,173	134	232
その他	6	18	36	56	22	33	62	84	23	62
合計	2,061	4,270	6,183	8,333	2,296	5,463	7,689	10,409	2,452	4,815

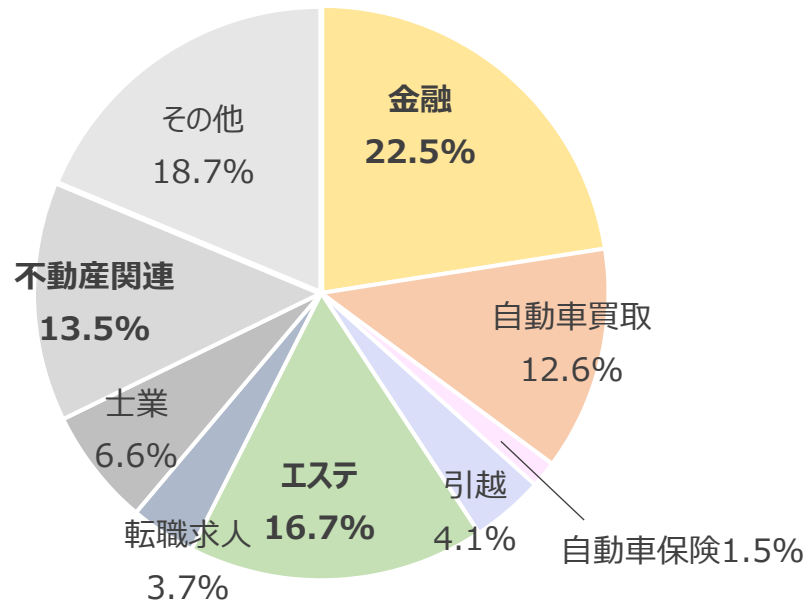
# 各セグメント売上減少に伴い利益も減少



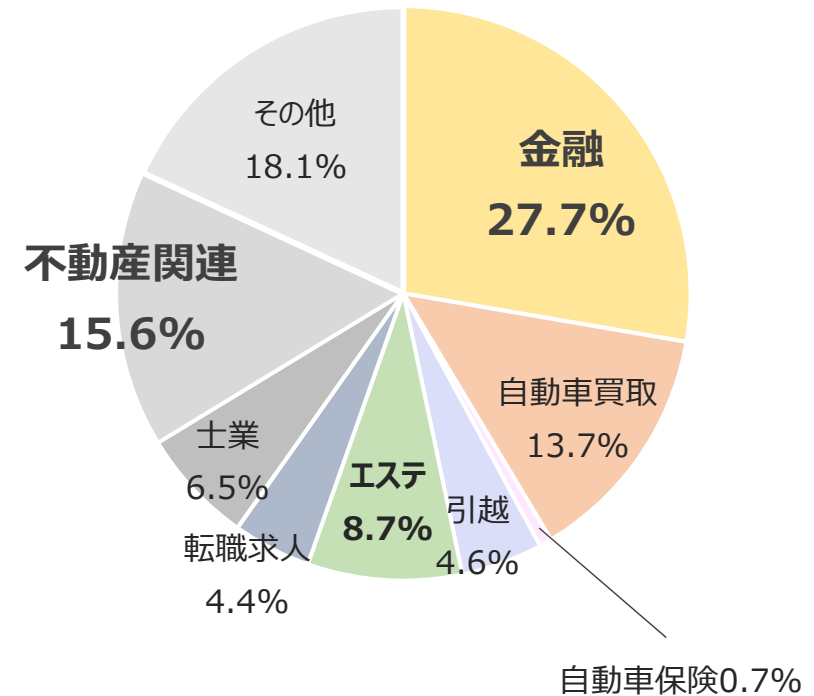
成果報酬型広告サービス事業	241	488	709	967	277	589	854	1,173	276	541
検索連動型広告代行事業	17	37	64	86	20	61	79	102	13	24
その他	6	18	35	55	22	31	56	74	19	50
合計	265	544	810	1,109	319	682	991	1,350	308	617

金融、不動産関連のシェアが増加し、エステが減少

2019/3 2Q



2020/3 2Q

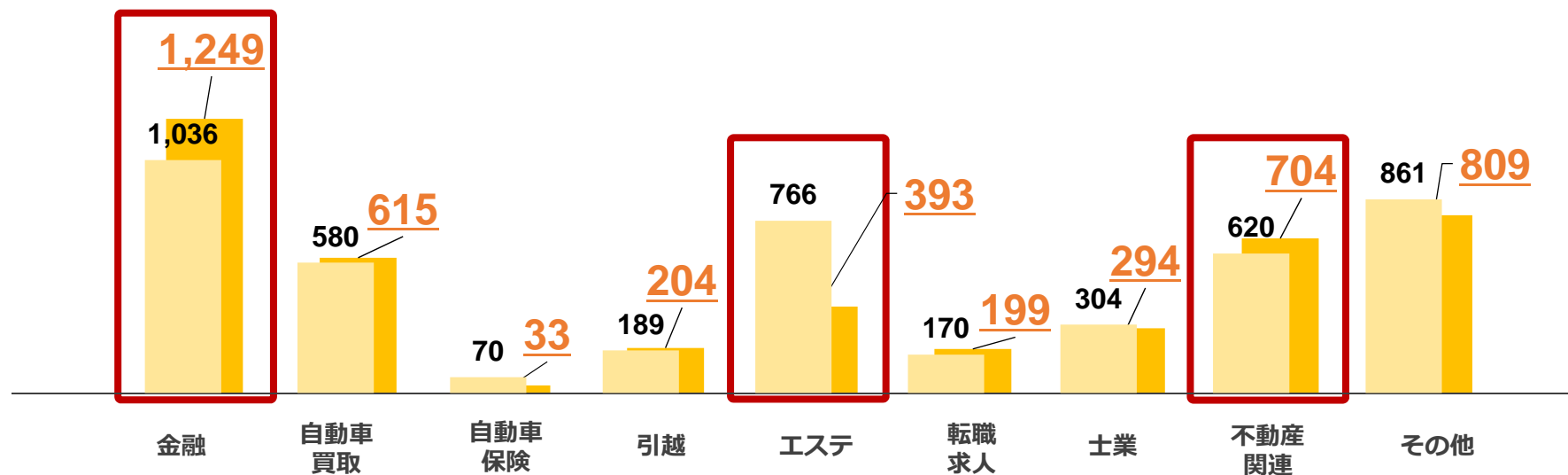


# 金融・不動産関連ジャンルが伸長、 エステジャンルは前年比で大きく減少

広告ジャンル別売上高

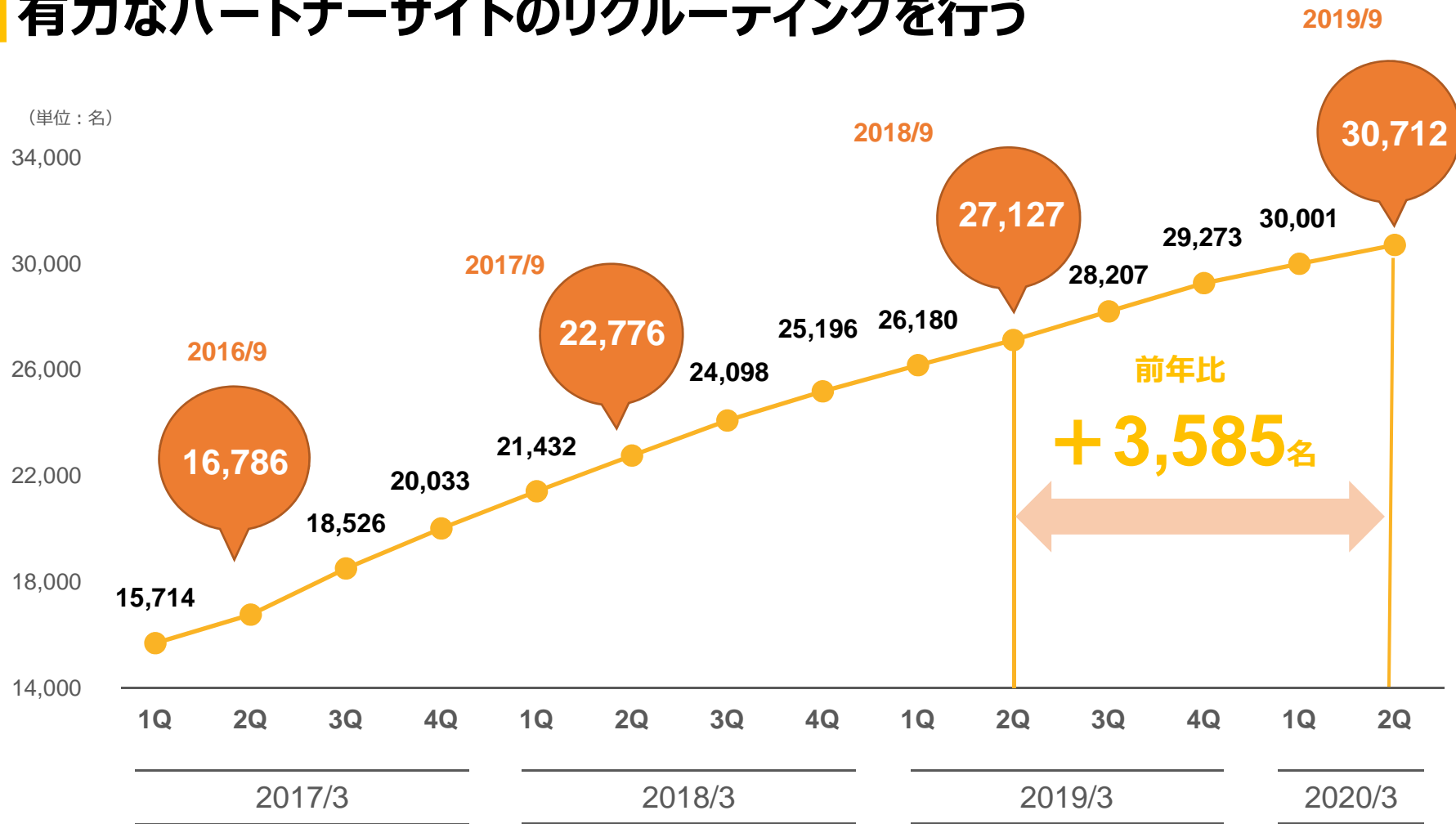
■ 2019/3 2Q ■ 2020/3 2Q

(単位：百万円)



- 金融、不動産関連ジャンルが前年を上回る
- エステジャンルは前年比で大きく減少した

モチベーションの高いパートナーサイトを増加させることにより、  
 運営者当たりの売上高平均を高めつつ、  
 有力なパートナーサイトのリクルーティングを行う



## 海外ビジネスをはじめとする先行費用増に伴う現預金の減少と 投資有価証券の増加

(単位：百万円)	2019/3	2020/3 2Q	増減額	主な増減理由
流動資産	3,559	3,317	▲241	現預金▲195 売掛金▲78
固定資産	366	493	+127	投資有価証券+131
総資産	3,925	3,811	▲114	
流動負債	1,800	1,740	▲60	未払法人税等▲76 買掛金▲38
固定負債	—	—	—	
純資産	2,124	2,070	▲54	
自己資本比率	54.1%	54.3%	+0.2P	
1株当たり 純資産(円)	268.99	262.29	▲6.7	

## 営業CFによるキャッシュを積極的に投資

(単位：百万円)	2019/3 2Q	2020/3 2Q
営業活動による キャッシュフロー	104	33
投資活動による キャッシュフロー	▲37	▲143
財務活動による キャッシュフロー	446	▲82
現金及び現金同等物 の増減額	513	▲195
現金及び現金同等物 の期末残高	2,113	2,157

### 主な内訳

#### ● 営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	102
投資有価証券評価損益	22
売上債権の増減額	78
前払費用の増減額	27
仕入債務の増減額	▲38
法人税等の支払額	▲124

#### ● 投資キャッシュフロー

投資有価証券の取得による支出	▲138
----------------	------

#### ● 財務キャッシュフロー

配当金の支払額	▲62
---------	-----

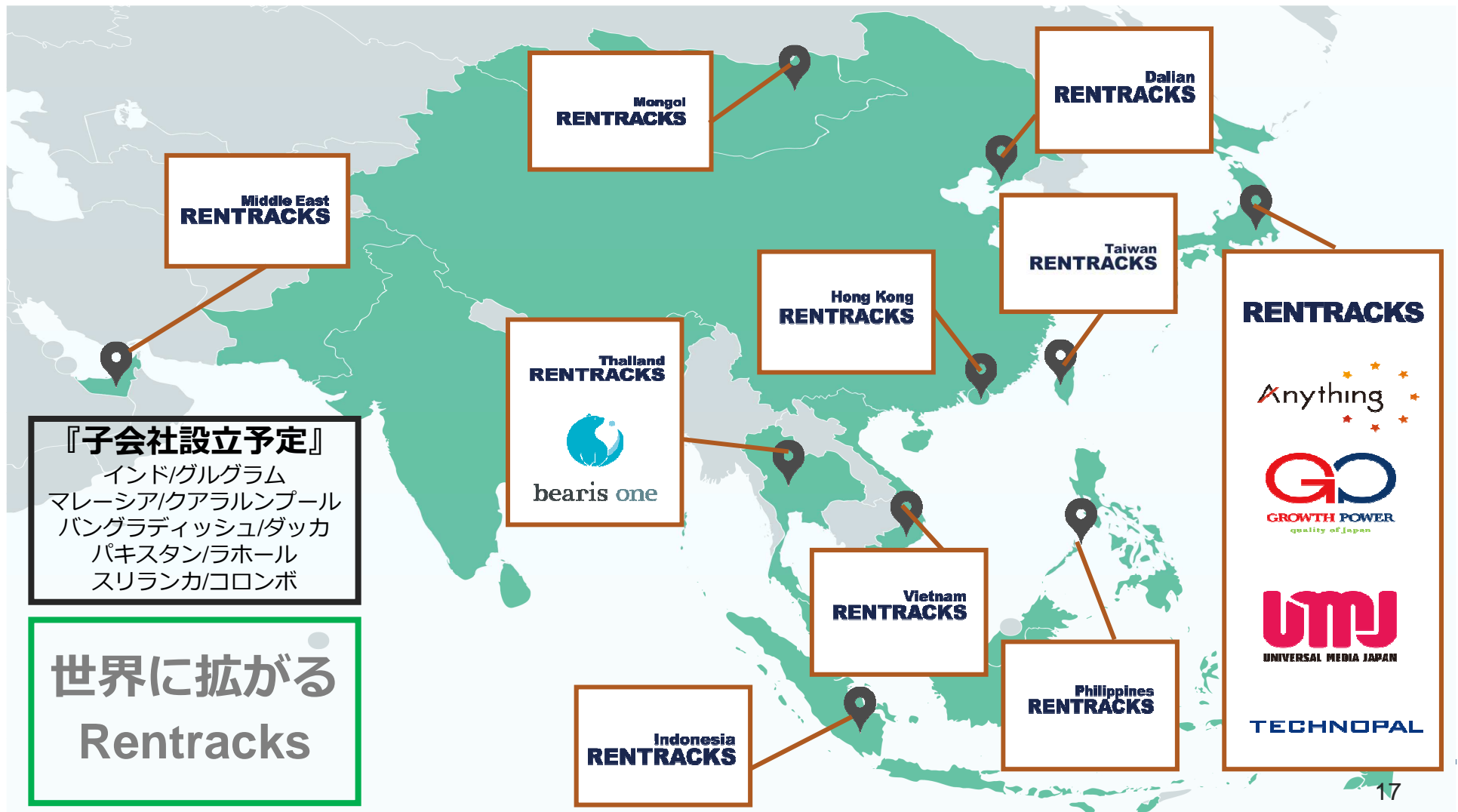


**2020年3月期 第2四半期 トピックス**

---

## アジア圏を中心にグローバルな新規市場開拓を加速

- ・日本のノウハウを駆使した成果報酬型広告事業の海外展開
- ・インフルエンサーマーケティングサービス等、各国のマーケットに応じて展開



企画・デザイン・開発・製造まで手掛ける技術者集団：

## テクノパルを設立

PCやスマホの普及とともに拡大するモバイルアクセサリ・雑貨・販促品等を、自社で企画・開発・製造し、自社チャンネルで販売するD2C（Direct to Consumer）モデルを手掛ける

多品種適量生産型のものづくり

ITを駆使した確かな生産管理

名 称	株式会社テクノパル
所 在 地	東京都江戸川区西葛西5-2-3 NEXTAGE西葛西5F
代 表 者 の 氏 名	中村 公彦
資 本 金	5,000万円
設 立 年 月 日	2019年10月

TECHNOPAL

 **REDFLAG**  
Young blood、若き血潮。



**SANPAL**

多彩なデザインと自由な生活スタイル。



## 2020年3月期 通期連結業績予想

---

前年比：売上高▲8.6% 営業利益▲62.9%

（単位：百万円）

	2019/3 通期	2020/3 通期（予想）	増減	増減率
売上高	10,409	9,515	▲894	▲8.6%
営業利益	515	191	▲324	▲62.9%
経常利益	515	189	▲326	▲63.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	279	75	▲204	▲73.0%

全体  
業績

**既存顧客の深耕と新規顧客開拓をすすめ、  
売上規模の拡大に注力し、利益を確保する**

成果報酬型  
広告サービス事  
業

- ① 有力なパートナーサイト運営者様への営業強化により業績拡大を図る。
- ② 既存のメインジャンルにおいては継続して営業強化し、物販等の新規ジャンルをさらに伸ばし、広告主様の増加を図る。

検索連動型  
広告代行  
事業

- ① 営業体制を一層強化し、新規顧客の開拓を継続的に行う。
- ② 掲載媒体の多様化への対応、広告主様と密接した情報交換、きめ細かいP D C Aサイクルの運用により顧客満足度を向上させ、広告運用予算の増額、運用継続を図る。

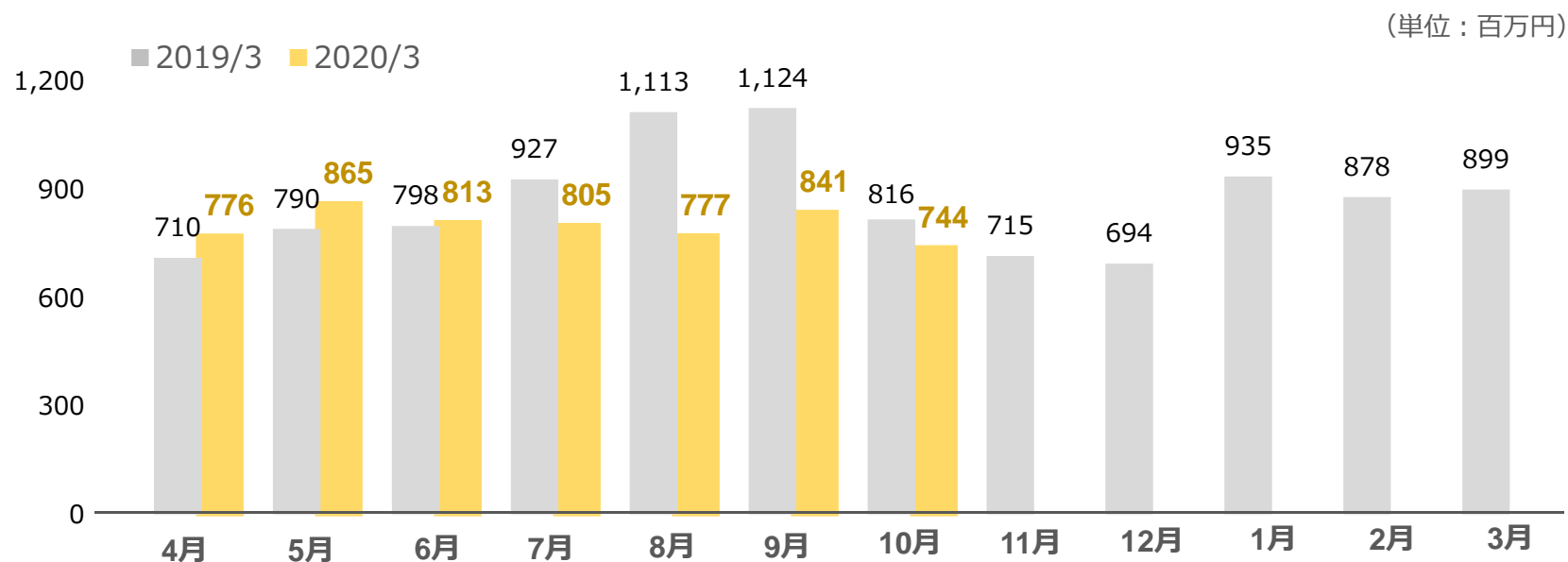
## 売上高：連結

(単位：百万円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計		
2020/3 (実績)	776	865	813	805	777	841	4,815		
2019/3 (実績)	710	790	798	927	1,113	1,124	5,463		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計	通期合計	
2020/3 (実績)	744								
2019/3 (実績)	816	715	694	935	878	899	4,946	10,409	

※ 本資料記載の数値は監査前の速報値であります。

※ 上期合計、下期合計は決算修正を反映した数値となります。

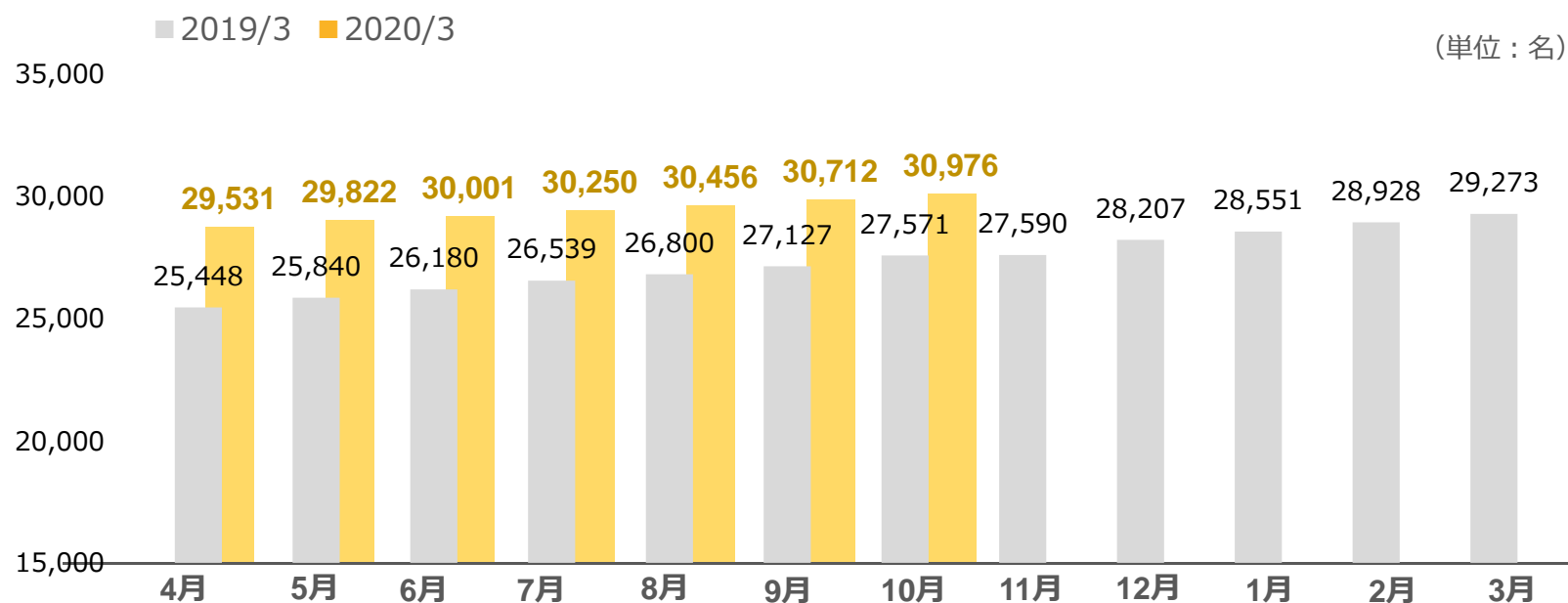


## 成果報酬型広告サービス事業：パートナーサイト運営者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
2020/3 (実績)	29,531	29,822	30,001	30,250	30,456	30,712		
2019/3 (実績)	25,448	25,840	26,180	26,539	26,800	27,127		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
2020/3 (実績)	30,976							
2019/3 (実績)	27,571	27,590	28,207	28,551	28,928	29,273		

※ パートナーサイト運営者とは、「レントラックス (Rentracks)」に登録した広告掲載媒体の運営者をさします。



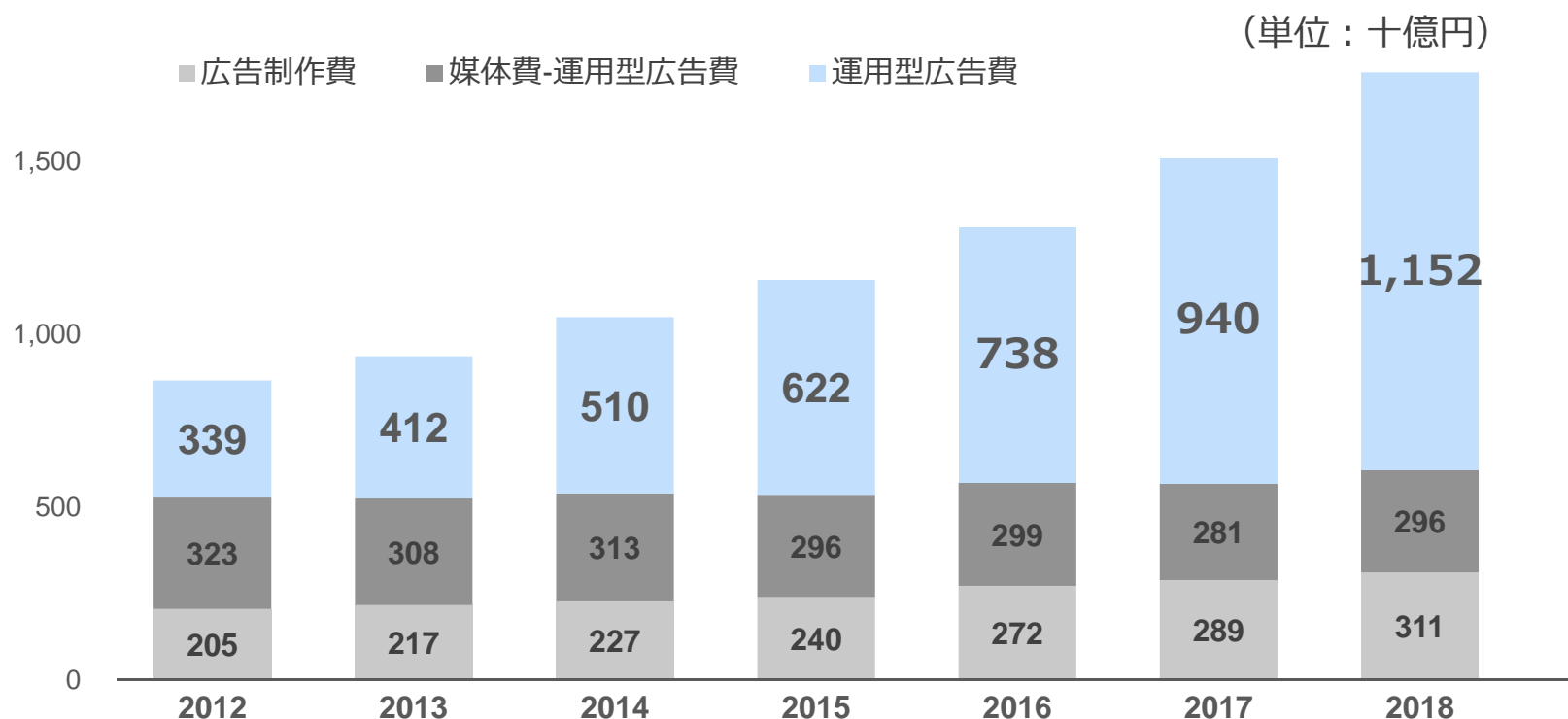


## 今後の展開

---

# 当社グループが属するインターネット広告市場は堅調に成長

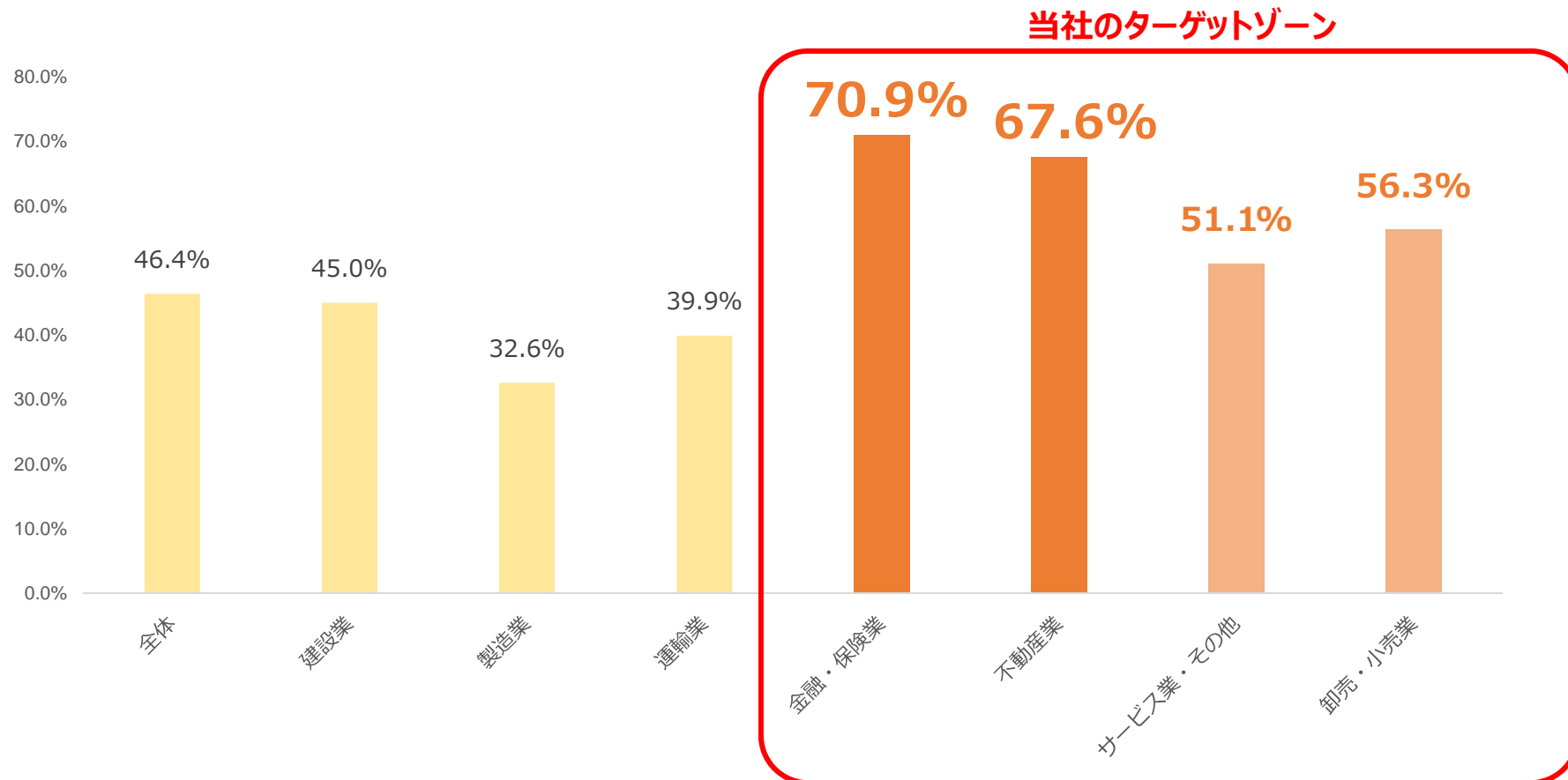
インターネット広告費：前年比116.5%  
 インターネット広告媒体費：前年比118.6%



出所：電通「2018年日本の広告費」

## ネット広告を多く活用する業種が当社の主要ターゲット

- 当社の主要顧客（金融）や今期シェアを伸ばした不動産はネット広告を多く活用
- 新規ジャンルの獲得に注力するサービス・小売業界もネット広告を多く活用

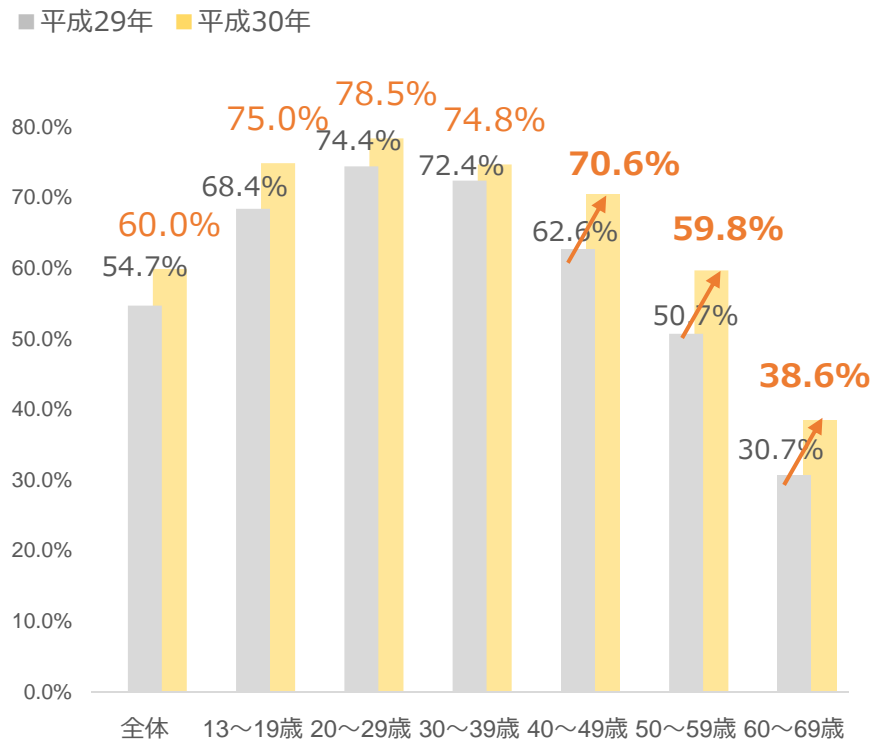


出典：「平成30年 通信利用動向調査」総務省

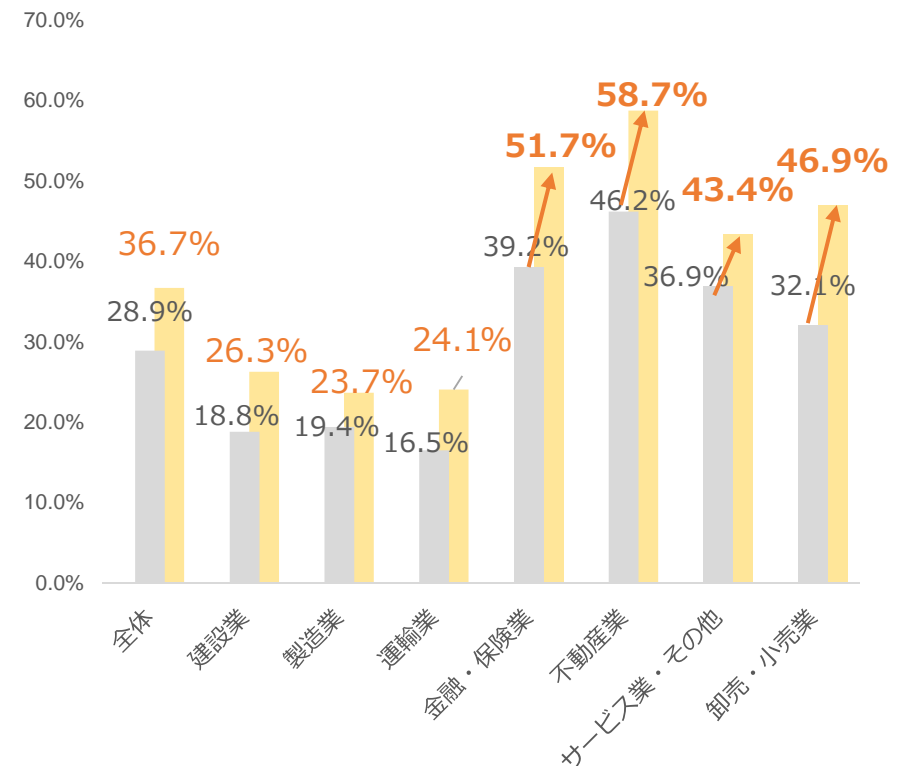
## 個人・企業双方のSNS利用率上昇に応じた新サービスの展開も視野に

- スマートフォンの普及とともに若年層だけでなく40～60歳代でもSNS利用率が上昇し、当社の主要ターゲット業種の活用も増えている

年代別SNS利用状況（個人）



ソーシャルメディアサービス\*1活用状況（企業）



\*1 ソーシャルネットワーキングサービス、ブログ、動画共有サイトなどの総称  
出典：「平成30年 通信利用動向調査」総務省

1

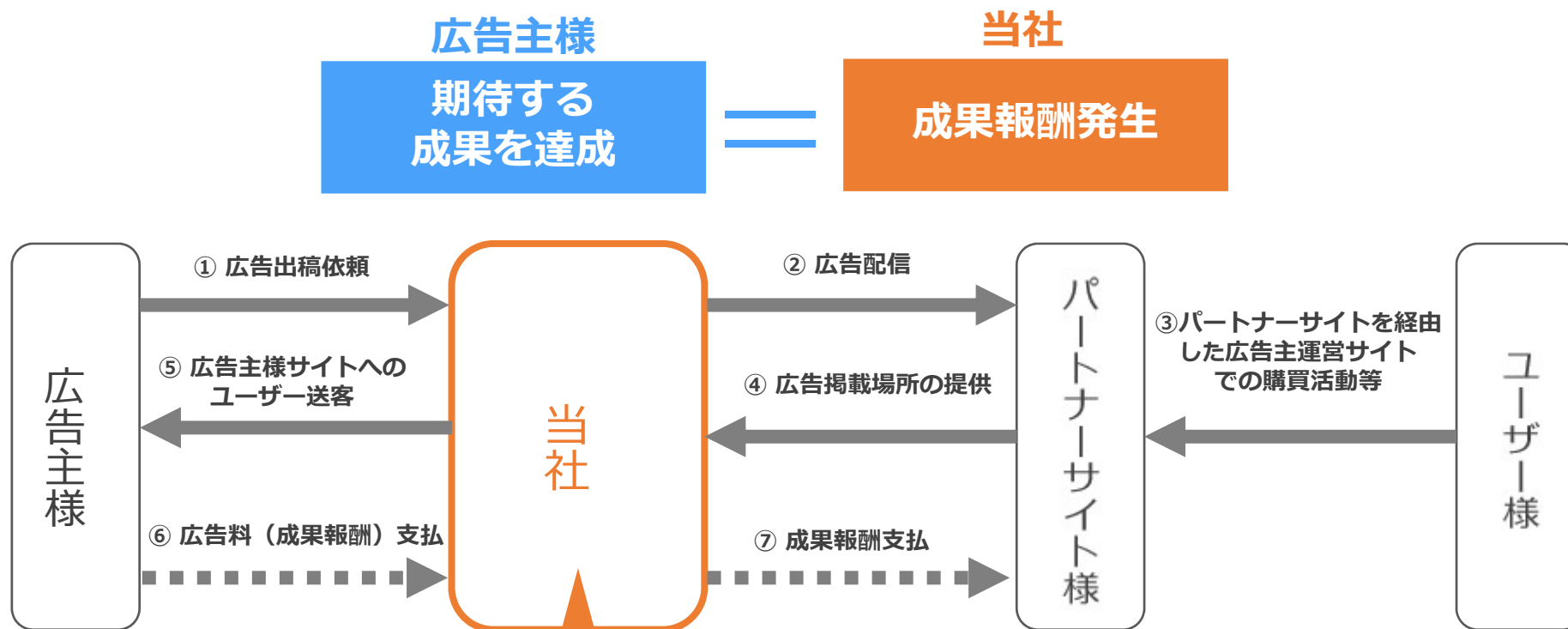
**完全成果報酬型広告サービス**

2

**顧客の「成果」につながる  
「クローズド型」体制の構築**

1

## 完全成果報酬型サービス



**当社の役割**

- 広告主様とパートナーサイト運営者様間の仲介
- 成果報酬額の調整、確定した成果報酬の回収・支払管理等のサービスを提供

2

顧客の「成果」につながる「クローズド型」体制の構築

1

厳選されたパートナーサイト網

- 既存パートナーサイト運営者様からの紹介
- アフィリエイト塾等からの紹介
- 当社からのリクルーティング等でのみパートナーサイト登録可能とするクローズド型のサービス体制

2

広告主様とパートナーサイト運営者様のWin-Winの関係

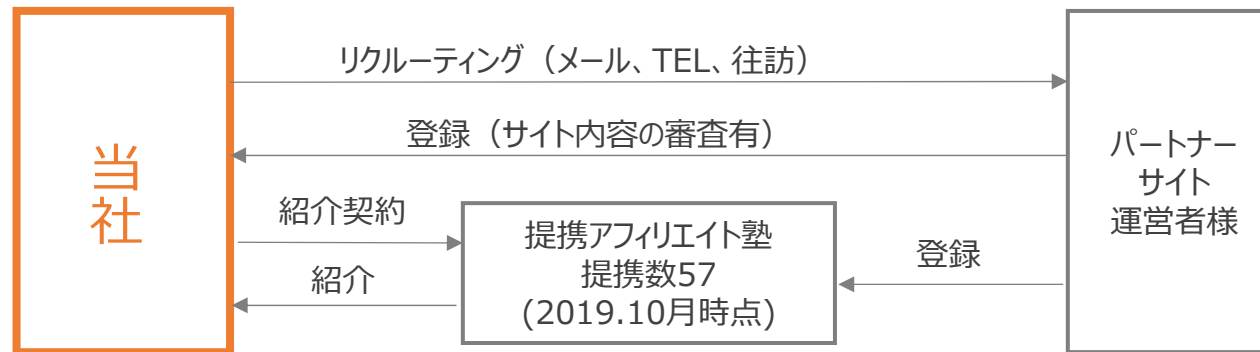
広告主様	「クローズド型」により、集客力の高い有力なパートナーサイトへの広告出稿が可能
パートナーサイト運営者様	高い成果報酬が期待できる広告案件等の優良な情報を得る機会を多く得られる

3

能動的に動く消費者を獲得できる仕組み

パートナーサイト運営者様は、検索連動型広告やSEO等により集客をしているため、広告主様は、検索エンジンによって特定キーワードに関する情報を探しているような、能動的に行動している消費者が閲覧すると思われるサイトへ広告掲載をすることが可能

【パートナーサイト登録の流れ】



## 広告事業の強化と新規サービス、海外展開の拡充

1

### 既存事業強化

- ネット広告を多く活用する金融業界、物販業界の案件深耕
- 将来的に新たなジャンルの柱とすべきサービス業界等への営業強化
- 既存業界へのさらなる深耕

2

### 新サービス 成長

- マatchingサイト等新たなインターネットサービス  
(中古建機・船舶・航空機等のグローバル売買サイトGROWTH POWERを運営)
- インターネットウェブサイト等各種メディアの企画及び運営
- インフルエンサーマーケティングサービス
- 販促品やモバイルアクセサリ、雑貨等の企画・開発・製造及び販売

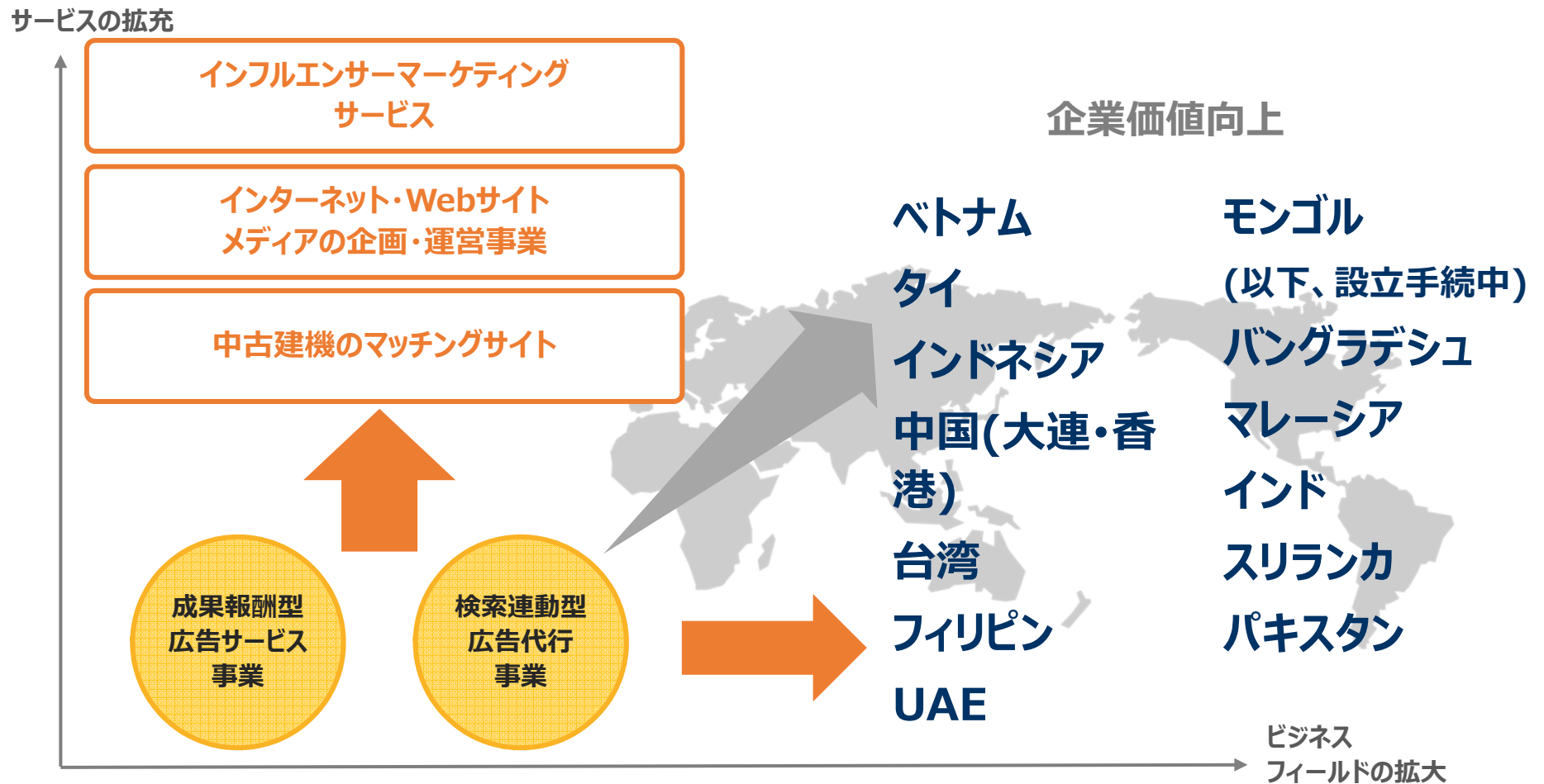
3

### 海外進出

- 日本における事業の海外展開
- ベトナム・・・ASP事業、スマートフォンアプリ開発等
  - タイ、台湾、フィリピン、モンゴル・・・ASP事業、現地マーケティング支援等
  - インドネシア・・・ASP事業、EC事業等
  - 中国(大連・香港)・・・GROWTH POWER窓口・ASP事業等
  - UAE・・・GROWTH POWER窓口・現地支援等



# ビジネスポートフォリオの拡張・強化で 企業価値向上



**参考資料**

会社名	株式会社レントラックス (Rentracks CO., LTD.)		
代表取締役	山崎 大輔		
設立	2005年12月22日		
本社所在地	東京都江戸川区西葛西5-2-3 NEXTAGE西葛西5F	海外子会社	RENTRACKS VIETNAM CO., LTD PT Rentracks Cocreation Indonesia 联特瑞客（大连）信息科技有限公司 BEARIS ONE Co.,Ltd 联特瑞客（香港）有限公司 台湾联特瑞客有限公司 PT Rentracks Creative Works RENTRACKS Philippines Inc. RENTRACKS Mongol LLC UAE・ドバイ（支店）
従業員数	52名（連結:107名、2019年9月30日現在）		
事業内容	成果報酬型広告サービス事業 検索連動型広告代行業業 中古建設機械等の販売仲介事業、メディア企画運営事業、SEO事業、システム開発・海外進出支援事業 等		
国内子会社	株式会社Anything 株式会社GROWTH POWER 株式会社ユニバーサルメディアジャパン 株式会社テクノパル	海外拠点	



RENTRACKS



TECHNOPAL

## 経営理念

経営理念

インターネットを駆使し、人々に適切な情報を提供し、便利さを提供する。

## 経営方針

経営方針

信念・責任感・謙虚さ・スピード・実行力をモットーに、当社にかかわる全ての立場の人々を成長させ、幸せにする手法を探求し、提供する。

## 五か条

五か条

- ・ 信念（人生一度きり、精一杯生きよう）
- ・ 責任感（常に周りを意識し、信頼を勝ち取ろう）
- ・ 謙虚さ（傲慢にならず周りに生かされていることを意識しよう）
- ・ マッサスピード（自分ひとりが頑張っている訳ではない。周りに負けないスピードで対応しよう）
- ・ 実行力（考えるのも重要だが、実行力が伴わなければ意味が無い事を認識しよう）

## 十五則

1. 嘘をつくな。思い込みは嘘と同様。
2. 常に明るく。暗い所に成功はない。
3. 自分の常識を疑え。
4. 他人を敬え。
5. 悪事は自分に跳ね返る。
6. 高い目標を持て。
7. アンテナを張り続けよ。
8. たまには休め。
9. 失敗は自分の責任。成功は自分の力+皆のおかげ。
10. 適当な仕事をするな。
11. 頑張っているのは自分だけではない。周り以上に頑張らなければ成功はありえない。
12. 常に周りに気を使え。そうすれば輪の中心は自分になる。
13. 人生は一度きり。思いっきり生きよう。
14. 情報は隠すな。情報を出せば出すだけ新しい情報が入ってくる。
15. 仕事は、「情熱×やり方」。やり方があっていても情熱が無ければつまらない。情熱があってもやり方が間違っていれば結果は出ない。

- 2005年12月 株式会社コエル設立
- 2006年 1月 株式会社レントラックスに社名変更
- 2006年 9月 プライバシーマーク取得
- 2007年 8月 株式会社クオリュクス&パートナーズ（現：株式会社Anything）設立
- 2011年 6月 タイ（バンコク）に間借り事務所開設
- 2012年 3月 ベトナム（ホーチミン）に子会社設立
- 2012年 5月 UAE（ドバイ）に支店開設
- 2015年 4月 東京証券取引所マザーズ市場に株式公開
- 2017年 3月 株式会社Growth Power設立、インドネシア（ジャカルタ）に子会社設立
- 2017年 5月 中国（大連）、タイ（バンコク）に子会社設立
- 2017年 8月 株式会社ユニバーサルメディアジャパン設立
- 2018年 8月 BEARIS ONE Co.,Ltd.（タイ）の株式を取得し子会社化
- 2018年10月 中国（香港）に子会社設立
- 2018年12月 台湾（台北）に子会社設立
- 2019年 3月 PT Kawaii wonder Group（インドネシア）の株式を取得し子会社化  
（PT Rentracks Creative Worksに社名変更）
- 2019年7月 フィリピン（マニラ）に子会社設立
- 2019年10月 株式会社テクノパル設立、モンゴル（ウランバートル）に子会社設立

インターネットを駆使し、  
人々に適切な情報を提供し、便利さを提供する。

本説明資料に掲載されている情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本説明資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

記載内容については最新の注意を払っておりますが、記載された情報の誤り等によって生じた事項に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

**【お問い合わせ先】****株式会社レントラックスIR担当****TEL : 03-3878-4159****MAIL : [ir@renttracks.co.jp](mailto:ir@renttracks.co.jp)**